

航空事故調査報告書

航空事故調査委員会議決
委員長 竹内和之
委員 小林哲一
委員 川井力
委員 東口實
委員 相原康彦

平成10年 1 月 7 日議決 個人所屬

萩原式H-23C-2型 JA2065

熊本県阿蘇郡阿蘇町 平成9年10月11日

所 属 : 個人所属
型 式 : 萩原式H-23C-2型
登録記号 : JA2065
発生場所 : 熊本県阿蘇郡阿蘇町大字山田字端部2090番地の1
農事組合法人山田東部牧場（阿蘇観光牧場）内の滑空場
発生日時 : 平成9年10月11日 13時51分ごろ

1 航空事故調査の経過

1.1 航空事故の概要

JA2065（滑空機、複座）は、平成9年10月11日12時36分ごろ、操縦練習生（以下「練習生」という。）及び操縦教員の2名が搭乗して操縦練習のため農事組合法人山田東部牧場（阿蘇観光牧場）内の滑空場（以下「滑空場」という。）をウインチ曳航により発航し、場周飛行後の着陸の際、滑空場にハードランディング。

搭乗者の死傷	操縦教員 重傷	練習生 重傷
航空機の損壊	小破	

1.2 航空事故調査の概要

主管調査官ほか1名の調査官が平成9年10月12日～13日、現場調査を実施。原因関係者から意見聴取を行った。

2 認定した事実

2.1 乗組員に関する情報

操縦教員	男性	39歳	
自家用操縦士技能証明書（滑空機）			第9148号
限定事項	上級		昭和55年9月26日
	動力		平成6年7月19日
操縦教育証明			第616号
			昭和57年7月7日
自家用操縦士技能証明書（飛行機）			第20892号
限定事項	陸上単発		平成6年6月14日
第2種航空身体検査証明書			第28330008号
有効期限			平成10年3月13日

総飛行時間（発航回数）	328時間37分（2,909回）
最近30日間の飛行時間	5時間30分
同型式機による飛行時間	1時間45分
最近30日間の飛行時間	1時間45分
最近1年間の操縦教育経験	28時間59分（232回）

練習生 男性 26歳

操縦練習許可書（滑空機） 大総第141号

平成9年8月13日

有効期限

平成10年8月12日

総飛行時間（発航回数） 12時間21分（111回）

最近30日間の飛行時間 0時間27分

同型式機による飛行時間 0時間27分

最近30日間の飛行時間 0時間27分

2.2 航空機に関する情報

型 式 萩原式H-23C-2型

製造番号 79

製造年月日 昭和40年3月15日

耐空証明書 第97-11-19号

有効期限 平成10年4月11日

総飛行時間 1,314時間02分

定期点検（耐空證、平成9年4月12日）後の飛行時間 7時間00分

2.3 機体調査

- (1) 機首下部のスキッドがわずかに損傷。
- (2) 機体に事故と関連する不具合は、認められなかった。

2.4 気象に関する情報

2.4.1 事故現場から南西約10kmに位置する阿蘇乙姫地域気象観測所の観測値は、次のとおり。

13時00分 風向 西南西、風速 5m/s、日照 1.0時間

14時00分 風向 西、風速 5m/s、日照 1.0時間

2.4.2 操縦教員によれば、事故時の気象は次のとおり。

天候は晴れで、午前中は西風5～6 m/s位で一定だった。11時位からサーマル（熱上昇気流）が出てきて、午後になって風向がどちらかというところ少し北側に振れるようになったが、着陸進入時はほぼ正対風だった。午後の風速は時々小さくなることもあった。

3 事実を認定した理由

同機は、練習生及び操縦教員の2名が搭乗し、当日2回目の飛行として、12時36分ごろ、操縦練習のため滑空場をウインチ曳航により発航。その後同機は、着陸のため北側場周経路に進入し、第3旋回点を対地高度約100mで通過。第3旋回点を通過したときに対地高度が低くなったため、第4旋回点を通らずに直接最終進入経路に入り、着陸進入角を調節しながら進入。

対地高度約3mで練習生による着陸直前の引き起こし操作が行われたが、操縦桿を引く操作が急激であったことから機首上げが大きくなり対気速度が減少し、操縦教員が対気速度及び機体姿勢を修正するための操作を行ったが修正できずに、0.5～1mの対地高度から滑空場にハードランディング。

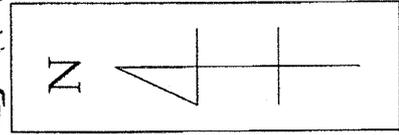
操縦教員、練習生及び目撃者の口述により、上記の通り認定。

4 原因

本事故は、着陸直前の引き起こし操作が急激であったため、対気速度が減少し、ハードランディングとなったことによるものと推定。

△828.2

付図 推定飛行経路図



風向：西
風速：約5m

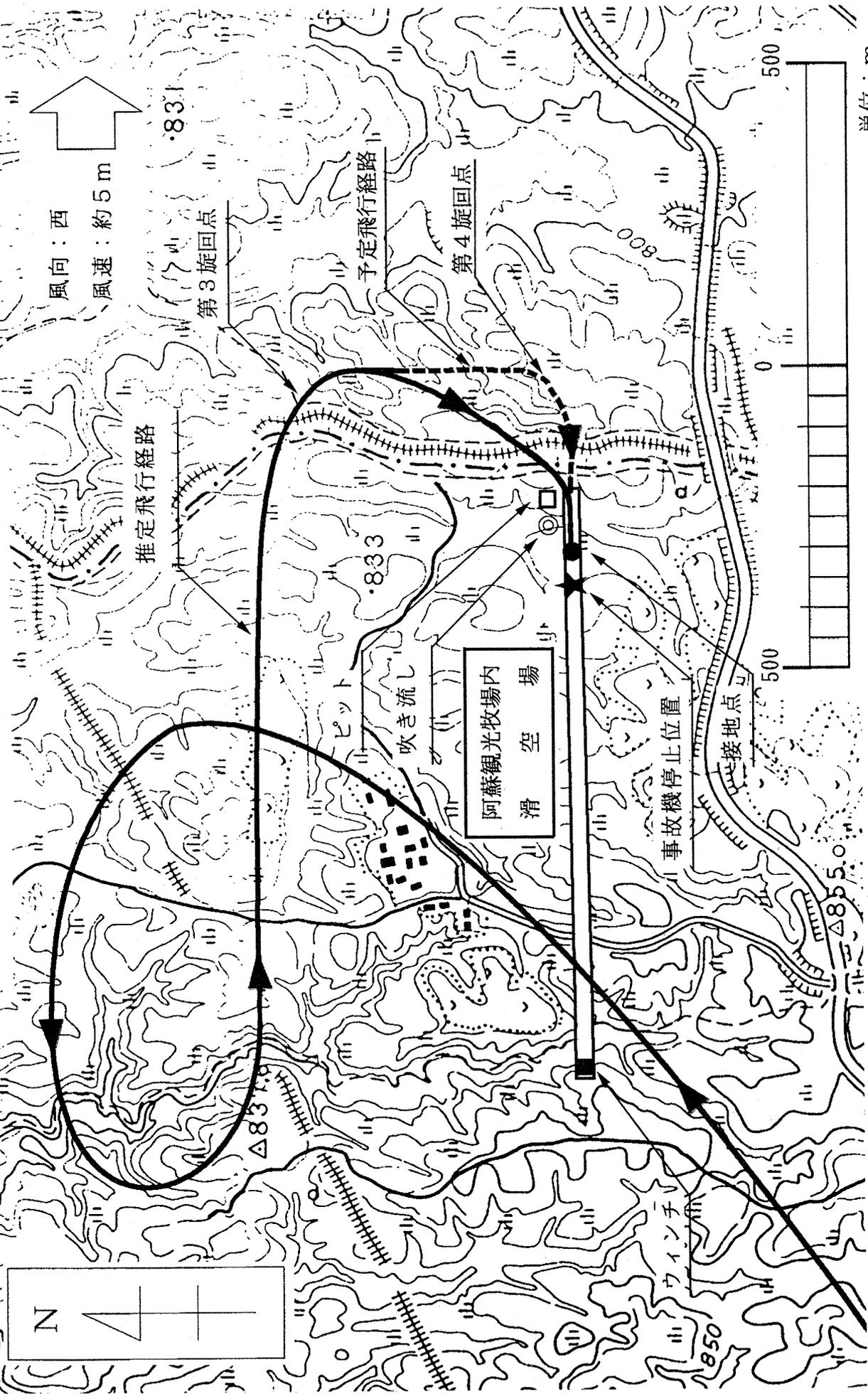


写真 事故機



(余白)